

令和5年度

「運営に関する計画」

大阪市立築港小学校

令和5年4月

大阪市立築港小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和 4 年度、新たに不登校となる児童は 1 名であった。朝、教職員が家まで迎えに行くなどし、登校できる児童もいるが、生活リズムの乱れなどにより、登校できない日がある児童もいる。

令和 4 年度の小学校学力経年調査「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答は 77% であった。前年度よりも 3% 増加したが、まだ 2 割程の児童が肯定的でない。

令和 4 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比は、国語 0.85、算数 0.91 であった。令和 4 年度の小学校学力経年調査では、1 学年が市の平均を超えたが、残りの 3 学年が平均を 3 ~ 6 % 下回った。

一人一台端末が整備され、各学年、スマートスクール「心の天気」の入力、相談機能やデジタルドリル「navima」の活用を進めてきた。各学級での実施頻度に差があるため、学校全体として取り組んでいく必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

児童一人一人に寄り添った不登校要因への対応を行い、今後 4 年以内に、新たな不登校児童の数を 0 にし、現在不登校の児童の出席日数を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

誰一人取り残さない学力の向上に向け、個に応じたきめ細かく継続した指導・支援を充実させ、今後 4 年以内に、全国学力・学習状況調査での平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において学習者用端末を毎日使用し、児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、子どもの理解を深めるとともに、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を行う。また、学校図書館などの学校施設の充実・整備を進めたり、地域、保護者と連携を深めたりしながら、地域全体で子どもたちを見守り、子どもたちの健全育成を図る。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90% 以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度（1.6%）より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 学校アンケート「学校に行くのは楽しい」と肯定的な回答をする児童を 85% 以上にする。そのためには、「教室は間違えてもよいところ」だと伝え、様々な体験や経験を通して間違いや失敗を認め、教職員が次につながる声掛けを行うことで安心して学校生活を送ることができるようとする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を54%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一分母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を63%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。

学校園の年度目標

- 学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にしっかりと磨いている。」の肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- 授業日において学習者用端末を毎日使用する。
- ゆとりの日を週に1回設定・実施する。

学校園の年度目標

- 子どもたちが生き生きと読書を楽しめるよう、昼休み毎日1回学校図書館を開放する。
- 学校行事等に地域の方や保護者を年5回以上招き、地域で子どもたちを見守る意識を高め、子どもたちの健全な育成を図る。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立築港小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 (令和4年度88%) ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <p>○学校アンケート「学校に行くのは楽しい」と肯定的な回答をする児童を85%以上にする。 (令和4年度83%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 児童理解のためのネットワークでの気になる児童の共通理解や、スクールライフノートの相談機能等の取り組み、また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを活用し家庭との更なる連携を図りながら、不登校の未然防止や改善に取り組む。</p> <p>指標 令和5年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度（2人）より減少させる。</p> <p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「いじめ（いのち）について考える日」や「いじめアンケート」の実施により、いじめの未然防止、早期発見に努める。</p> <p>指標 令和5年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 (令和4年度88%)</p> <p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「教室は間違えてもよいところ」なので、様々な体験や経験を通して間違いや失敗を認め、教職員が次につながる声掛けを行うことで児童が安心して学校生活を送ることができるようとする。</p> <p>指標 令和5年度の学校アンケートにおける「学校に行くのは楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 (令和4年度83%)</p> <p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 道徳教育・キャリア教育の充実や、異学年との取り組みを通じて、自己肯定感・自己有用感の向上に努める。</p> <p>指標 令和5年度の学校アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。 (令和4年度77%)</p>	進捗状況

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立築港小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 54%以上にする。（令和 4 年度 53%） ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。 ・小学学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 63%以上にする。（令和 4 年度 63%） ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。（令和 4 年度 79%） ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72%以上にする。（令和 4 年度 71%） <p>学校の年度目標</p> <p>○学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にしっかりと磨いている。」の肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上にする。 （令和 4 年度 91%）</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 始業前の反復学習の取り組み等を通して、基礎学力の定着を図る。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント以上減少させる。 （令和 4 年度 4 年 3 ポイント減少、5 年 4 ポイント増加）</p>	進捗状況

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 始業前の反復学習の取り組み等を通して、基礎学力の定着を図る。</p> <p>指標 小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント以上減少させる。 （令和 4 年度 4 年 3 ポイント減少、5 年 4 ポイント増加）</p>	

取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

なわとびタイムやかけ足タイムなどを設け、体育施設・体育用具を活用して進んで体力づくりに取り組み、運動することが好きな児童が増えるようとする。また、芝生を定期的に整備し、休み時間などで児童が安全に遊ぶことができるようとする。

指標

新体力テストの結果を記録するカードや水泳カード、なわとびカードを個人で6年間使用し、令和5年度の学校アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。**(令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 90%)**

取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

自ら健康に関心が持てるように指導し、健康な生活リズムが継続的に身につくようとする。

指標

令和5年度の学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にしっかり磨いている。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 2)

大阪市立築港小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において学習者用端末を毎日使用する。 ゆとりの日を週に 1 回設定・実施する。 <p>学校の年度目標</p> <p>○子どもたちが生き生きと読書を楽しめるよう、昼休み毎日 1 回学校図書館を開放する。</p> <p>○学校行事等に地域の方や保護者を年 5 回以上招き、地域で子どもたちを見守る意識を高め、子どもたちの健全な育成を図る。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>スマートスクール「心の天気」の入力や、授業にデジタル教材を活用することで、子どもの理解を深めるとともに、学習者用端末の習慣的な活用に努める。</p>	
<p>指標</p> <p>令和 5 年度の学校アンケートにおける「日々の学校活動の中でパソコンを活用している」に対して、「ほぼ毎日」と回答する児童の割合 80 %以上にする。</p> <p style="background-color: yellow;">(令和 4 年度 70 %)</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>学習者用デジタル教材や一人一台端末を活用することで、楽しく算数の学習に取り組む児童が増えるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>令和 5 年度の学校アンケートにおける「算数の学習がわかる」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83 %以上にする。(令和 4 年度 83 %)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>会議等の精選、ゆとりの日の設定により、時間外勤務の時間を減少させる。</p>	
<p>指標</p> <p>ゆとりの日を週 1 回以上設定する。また、学校閉庁日を夏季・冬季休業期間中において、それぞれ 2 日以上設定する。</p>	

取組内容④【基本的な方向8 生涯学習の支援】

子どもたちが生き生きと読書を楽しめるよう、昼休み毎日1回学校図書館を開放する。

指標

令和5年度の学校アンケートにおける「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。(令和4年度66%)

取組内容⑤【基本的な方向9 家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】

学校行事等に地域の方や保護者を年5回以上招き、地域で子どもたちを見守る意識を高め、子どもたちの健全な育成を図る。

指標

令和5年度の学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きです」に対して、肯定に回答する児童の割合を90%以上にする。

(令和4年度89%)

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点